

About o to no wa

「おとのわ」は、趣旨にご賛同いただいたミュージシャンはじめ、会場や制作など様々な方々のご協力によりおこなわれるものです。収益の半分は「せんだいコミュニティカフェ準備室」の設立資金として活用し、もう半分を、母子週末保養プロジェクト「ちいさなたび Japan」<http://chiitabi.com/>（放射能汚染地区におり、様々な事情のために避難移住できない母子のために、週末などに比較的汚染程度の低いエリアの宮城県内で合宿しながら、母子双方の心身の保養を助ける目的とする団体）へ寄付させていただきます。



せんだい
コミュニティ
カフェ準備室

震災後、市民による自由な表現と交流の場としてのコミュニティカフェ設立のため発足しました。仙台在住の有志10数名がメンバーです。これまで、既存のカフェでロックカフェ開催、被災地支援を考える車座カフェトーク、せんだいメディアテークで毎月一回ust配信している「暮らしのシェア」のサポートなどを行っています。将来、仙台にLIVEやワークショップをおこなったり、ギャラリー機能があるカフェをつくる計画です。

sendaicommucafe.blogspot.com/

つながる音、つながる想い

おとのわ

2012年2月19日(日) 13:00~19:30
入場料 / 前売 3,500円 当日 3,900円
(ドリンク代別¥500 / 当日) 全席自由 ※中学生まで無料

会場: Rensa (レンサ)
<http://www.rensa.jp/>

仙台市青葉区一番町4-9-18 TICビル7F TEL.022-713-0366



【交通アクセス】地下鉄・勾当台公園駅 南口出口徒歩2分
JR仙台駅より徒歩17分
三越アーケードななめ向い、1Fは「ツルハドラッグ」

プレイガイド チケットは各プレイガイドにて
12/18(日) から発売。

ローソン: (Lコード: 24318) TEL.0570-084-002

びあ: (Pコード: 620-447) TEL.0570-02-9999

イープラス: <http://eplus.jp>

spaceship 仙台ゆんた: TEL.022-792-5167 (平日14:00~17:00)

book cafe 火星の庭: TEL.022-716-5335 (11:00~19:00 火・水休み)

お問合せ/おとのわプロジェクト TEL.090-2954-7719 (平日12:00~19:00)

メールアドレス: otonowa2012@gmail.com

おとのわブログ: <http://otonowa.blogspot.com/>

主催/おとのわプロジェクト 協力/せんだいコミュニティカフェ準備室

表紙「NO NUKES!」

イラストレーション: スズキコージ

デザイン: 横須賀拓



つながる音、つながる想い

おとのわ o to no wa

《おとのわ》は、東北から子ども達の安全な未来と
あたらしい暮らし方を自分たちの手で育み、発信していけるよう
音楽をエネルギーに、歌い、踊り、つながり合う場。

おちゃんのわ

うつろひカフェ せんだいコミュニティカフェ準備室

もののわ

飾人(かざりびと) kitone
仙台こけしぼっこ+おりづめ Notre Chambre

原発・放射能なんでも相談コーナー

LIVE

OPEN 13:00
START 14:00~19:00

「どものわ」
友部正人 / 曾我部恵一
タテタカコ
東京ローカル・ホンク
小野一穂
「せんのわ」
Yumbo / Tenniscoats
Rachel Dadd & ICHI
おとのわなんでも楽団

2012年2月19日(日)

13:00~19:30 会場: Rensa
入場料 / 前売 3,500円 当日 3,900円
(ドリンク代別¥500 / 当日) 全席自由 ※中学生まで無料



古本と酒 鉄塔文庫 (二階「ぎやうりー四樓半」)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-3-30 老式参横丁11号店舗
営業時間 13:00-17:00 (古本喫茶) 17:30-閉店迄(立ち呑み)



立町
022-711-5520

喫茶
ホルン

ensemble of rests

<http://twitter.com/ensemblrests>

とものわ

友部正人 Masato Tomobe



1950年東京生まれ。19歳のとき名古屋の路上で歌い始め、72年「大阪へやってくる」でレコードデビュー。以降最新作「クレーン」(2010)まで22枚のオリジナルアルバムを発表する。ほかに著書も多数あり、最新詩集は「退屈は素敵」。ニューヨークと日本を行ったり来たり暮らして長く続けている。

曽我部恵一 Keiichi Sokabe



1971年生まれ、香川県出身。ミュージシャン。ROSE RECORDS主宰。ソロだけでなく、曽我部恵一BAND、再結成を果たしたサニーデイ・サービスなどで活動を展開し、歌うことへの飽くなき追求はとどまることを知らない。プロデュースワーク、執筆、CM・映画音楽制作、DJなど、その表現範囲は実に多彩。下北沢のカフェ兼レコード店CITY COUNTRY CITYのオーナーでもある。最新作は、多岐に渡る活動を集約し、今一度、表現主体である曽我部恵一として歌へと向き合ったソロアルバム『PINK』。

東京ローカル・ホンク Tokyo Local Honk



1994年結成の4人組。LIVE盤を含む5枚のアルバムを発表し、その音楽性/演奏力は各方面から高い評価を得ている。友部正人との共演はアルバム『クレーン』に結実、その後のツアーでも語り草になる名シーンを多数残した。2011年11月には4年ぶり待望の3rdアルバム『さよならカーゴカルト』をリリース！

せんのわ

yumbo ユンボ



'98年より仙台を拠点に活動する音楽グループ。澁谷浩次(作詞作曲/ピアノ/ベース他)、工藤夏海(フレンチホルン/フルリゲルホルン)、大月俊二(ギター/ベース/フルリゲルホルン)、高柳あゆ子(ヴォーカル)、山路知恵子(パーカッション)、芦田勇人(ユーフォニウム/ベース/ギター)から成る6人編成。現在までに「小さな穴」(03年Majikick)「明滅と反響」(06年Majikick/Igloo)「甘い塊」(08年ontonso)「これが現実だ」(11年7ep.)などのCDを発表している。

Rachael Dadd レイチェル・ダッド



英国・ブリストル在住。ギター、バンジョー、ウクレレ、ピアノを演奏。17歳でファーストアルバムをリリース。04年からブリストルに移り、WHALEBONE POLLYやTHE HANDなどのサイド・プロジェクトも開始。ハンドメイド・ブランドMAGPIEを立ち上げる。ソロで3枚のアルバムと、2枚のミニアルバムを発表。GONITTIの30周年アルバム「VSOD-very special ordinary days」のゲスト・ヴォーカル。'11年に新作「bite the mountain」リリース。

おとのわ子ども楽団 Otonowa Kodomo Gakudan この日ここに集まった子ども達。

LIVE

OPEN 13:00 START 14:00~19:00

出演順ならびに時間などは当日までわかりません。どうぞご了承下さい。

タテタカコ Takako Tate



ハードコア・パンクからアヴァンポップまで、あらゆる表現分野を内包し得る新種(あるいは、珍種)のシンガー&ソングライター。ピアノと歌だけを携えて、剥き出しの表現者魂に導かれるまま独立独歩で歌って歩く。2004年、映画「誰も知らない」(是枝裕和監督作品)の挿入歌「宝石」を収録したアルバム「そら」をリリースしデビュー。以降、よしもとばなな原作による映画「アルゼンチンパバア」の主題歌や、CM等に楽曲を提供。

小野一穂 Kazubo Ono



1976年東京生まれ横浜在住のシンガーソングライター。コツコツ働いた20代を経て、30歳頃から本格的に音楽に取り組むようになる。2010年末、1stアルバム「綿帽子」をリリース。素朴な唄と生活の詩、シンプルなサウンドに好評を博す。2011年はWindBlow, AcousticCamp, 勝手にウツドストック, Project FUKUSHIMA 等大型野外フェスにも出演。

Tenniscoats テニスコート



さやと植野隆司を中心とした歌と音。日本のみならず、様々な場所で様々な人と音に出会いながら活動中。様々なキャリアがありながらも、いつも結成当初のような状態で、全く型にはまらない活動/演奏を続ける。日本では数少ない稀な演奏家たち。近年ではマイクやアンプを使わず、より音やうたの根源に近づくような演奏活動を行っている。

ICHI イチ



スティールパン、木琴、鉄琴、トランペット、メロディカ、風船、タイプライター、声、自作楽器などを一人で自在に演奏し、おもちゃ箱をひっくり返したようなステージングをみせる、ひとりサーカス楽団ICHI! 2005年に1stアルバム「mono」を、2010年に2ndアルバム「memo」をリリース。沖縄から北海道まで全国各地でライブをおこなう。イギリスを中心にオランダ、ベルギー、フランス、ドイツ、スイス、オーストリア、イタリアでツアーを行い、UK最大規模のグラストンベリーフェスティバルに2年連続出演。

おちやのわ 13:00~19:30

うつろひカフェ

~ふだん着で出掛ける旅。うつろひながら、お茶を愉しむ旅。~季節のフレーバーティー、厳選中国茶をご用意。パウンドケーキ、おすすのスイーツをたずさえて、今日もちいさなカフェを展開します。



せんだいコミュニティカフェ準備室

もりのわ 13:00~19:30

飾人(かざりびと)

アクセサリー(彫金)杜の都クラフトフェア発起人。松本クラフト等全国のイベントに出演。NHK仙台「キラリこの人」に出演。立体造形等も制作。

仙台こけしぼっこ+おりづめ

こけしの雑貨+おりづめガラス、がまぐち、布小物、コースージュ、アクセサリー。

kitone

縫製に使うミシンは独立型の太陽光発電の電力を使い、できるだけ地球に負担のかからない、未来を意識した作品作りを心がけています。

Notre Chambre

身体が喜びと気持ちよさを感じられるような食べ物、飲みものと小物の販売。



©2009 スズキコージ

原発・放射能なんでも相談コーナー

子どもたちを放射能から守るみやぎネットワーク

3.11以降、放射能に向き合って生きていくことを余儀なくされた私達。宮城県南部ではゆるやかにネットワークができました。講演会や勉強会、情報交換会の開催、要望書の提出、保護者の情報交換など幅広く活動しています。思いを共有してくださる方ならどなたでも参加できます。当日、丸森でつくっているお味噌などの販売も致します。どうぞお気軽にお声がけください。

みやぎ脱原発・風の会

風の会は2001年に活動を開始しました。環境エネルギー政策研究所飯田哲也さんの講演会の開催が最初の取組です。前身は女川原発運転差止訴訟を支援してきた女川原発訴訟支援連絡会。 「風」という名前には自然エネルギーの風とともに、脱原発社会に向かう風を起こしたいという思いも込められています。年4~5回会報「鳴り砂」の発行、講演会、写真展、見学会などの活動と、政策転換を求め国や宮城県や東北電力への直接交渉も重視して来しました。

三陸・宮城の海を放射能から守る仙台の会(わかめの会)

2006年3月31日に青森県六ヶ所村の再処理工場のアクティブ試験が強行されました。同年に仙台での「六ヶ所村ラプソディー」上映にかかわった人達などが中心になりわかめの会ができました。これまで、豊かな三陸の海を守ろうと岩手や青森の人たちと連動し、原発や再処理・核燃についてあまり知らなかった方々も含め、再処理工場の本格稼働を止める運動をしてきました。【主な活動】2008年「海に空に放射能を捨てないで! —STOP!再処理本格稼働—」を青森・岩手の4団体と共催、「六ヶ所村ラプソディー-東日本市民サミット」を3回共催。

5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会 せんだい みやぎ

3月11日の震災やそれに続く原発事故が、私たちの生活に大きな影響をもたらしています。「心配しているのは自分だけ?」「子どもを守るためにどうしたらいいの?」など、不安や情報が知れたという多くの声が上がりに始めています。その声は、親から親へとつながり、広がり、大きな輪になっていきます! 私たちは、愛するこの地で、未来そのものである子どもたちを、健やかに育てていきたい。

小さき花 市民の放射能測定室仙台

仙台市太白区坪沼で長年有機・自然農法を営んできました。2011年11月に一番小さき人、困っている人、必要としてくれる人のために仙台初の市民による放射能測定室を自宅に開設。(測定器FNF-401)測定料金は一検品3000円です。場合によっては無料で測定し、データは市民で共有できるように公表しています。スタッフは原発20km圏内から避難してきた方と石巻で家を流された方、震災で仕事をなくされた方と障害者の方にも願っています。

週3日の小さなシュタイナー幼稚園と親子クラス



spaceship 仙台ゆんた

<http://web.me.com/yunta>

book cafe 火星の庭



<http://kaseinoniwa.com/>

